



(2018年7月21日うんなまつり)

サンゴの村宣言から6年! 世界一サンゴと人にやさしい村を目指して



恩納村は2018年7月に、環境に負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、自然環境に優しい地域づくりを目指すため、「サンゴの村」を宣言しました。今年で宣言から6年目となり、これまでの活動を振り返りながら、進捗や取り組みを隔月で紹介していきます。第1弾はリーフチェックです。

● サンゴの健康診断(リーフチェック)2020年～



本村の「サンゴの村づくりに向けた行動計画(2020改定版)」にて、海域におけるモニタリング調査等への支援が明記されており、その中で恩納村マリンレジャー協会の取り組みとして「リーフチェックの定期実施」が盛り込まれています。

また、恩納村では1990年以降、度々サンゴが白化し減少してきました。そこで恩納村マリンレジャー協会の協力のもと、リーフチェックをすることで、年に2回サンゴの健康状態を確認しています。

■ リーフチェックとは?

サンゴ礁が健康な状態であるかを知る方法の一つです。世界統一のルール・手法で行われる調査で、データの蓄積を行っていくことと、ダイバーが調査に参加することが目的です。

また、シンプルな手法と役割分担がされており、参加者へのサンゴ礁保全に向けた意識の醸成や普及啓発も大きな目的の一つとなっています。

チェックポイント: 真栄田岬(6月頃)、万座毛沖(11月頃)



■ チームリーダー、チーム科学者の養成

リーフチェックを行うためには、現場を統括する「チームリーダー」と、調査の精度を担保するために海洋学者から認定を受けた「チーム科学者」が必要となっています。

恩納村マリンレジャー協会は、村内のダイビング事業者に募集をかけ、リーフチェックの人材育成にも力を入れています。

恩納村のフィールドを、自分たちの手でモニタリングしていく体制を整える目的で、これまでに3回の人材養成講座を行い、計23名が認定されています。



進捗

今年も、6月26日にリーフチェックが実施され、徐々にですがサンゴは増えている状況と報告があります。過去のデータも公表されていますので、ぜひチェックしてみてください。

恩納村マリンレジャー協会HP:リーフチェック報告▶



● SDGs推進事務局に地域活性化企業人が着任しました



恩納村のSDGsを推進するため、総務省の地域活性化企業人事業を活用し、県外企業のSDGsパートナーズ(有)から新たに小田祐子さんが着任しました。SDGsの普及啓発、様々な企画の策定などを担当します。地域、関係団体の皆様と一緒に、恩納村の課題を解決するお手伝いをします。

お問い合わせ:企画課 ☎966-1201